

2021-22 年度 R1 会長 シェカール・メータ (カルカッタ: マハナガール RC) 第 2820 地区ガバナー 新井和雄 (下館 RC)

国際ロータリー 第 2820 地区 (茨城) 第 1 分区 日立港ロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



2022. 2. 3
第 1999 回例

会長 佐藤邦裕 会長エレクト 山口憲生 幹事 菅原光雄

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



2 月は平和と紛争予防 / 紛争解決月間です

会長挨拶 佐藤邦裕 会長



皆様こんにちは、本日は節分、私はこの後、大甕神社にて節分追儺式、豆まきの予定です。豆を撒いて厄を払い、福の呼び込みを願って行きます。そして明日は立春、寒さ厳しき中にも日差しに春を感じます。先日の IM 開催にあたりリモート Zoom 開催、懇親会中止も含めて、全て異例の開催でありました。各分区でも中止も含め、開催の在り方に注視ある中での先行開催は賛否両論あると思いますが、私自身一定の成果とっております。協力いただいた会員の皆様、特に鈴木ガバナー補佐、プログラム編成の山口会長エレクト、システム運営の吉成様、司会進行の鈴木 SAA 感謝申し上げます。次の大行事は 4 月 23 日に予定されております 45 周年記念行事であります。2 月 17 日の夜間例会は蔓延防止発令中で昼間の通常例会に変更し、創立 45 周年記念事業鋤柄実行委員長のもと、会場、記念講演、記念行事等の計画を詰めていかなければなりません。またまた会員の皆様の協力をお願いいたします。コロナ渦が収束し懇親会が楽しく出来ることを願い挨拶いたします。

例会報告

開会点鐘 佐藤邦裕 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のピジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

本日はいらっしゃいません。

出席報告 鈴木崇久 SAA

会員数	出席数	出席率
37	28	77.78%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席 3 名)	8	100.0%

本日の食事メニュー：持ち帰り用弁当

ここにこ BOX 報告 鈴木崇久 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 岩田秀邦さん…24 歳で結婚して 55 回目の祝いとなりました。色々ありましたが、妻も元気で頑張ってきました。コロナが治まったら二人で旅行がしたいと思っています。ゴルフは元気なうちにホールインワンとエージシュートをやってみたいです。



目標 1,408,000 円
人頭分担金 322,000 円
本日のご芳志 3,000 円
トータル 945,216 円

報告

【受信書簡・メール】

- ・ 2 月ロータリーレート 1 ドル = 115 円
- ・ 地区大会登録案内並びに取りまとめのお願い
- ・ クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS) のご案内
- ・ 会長エレクト研修セミナー登録料振込みのお願い
- ・ 日立市青少年育成推進協議会設立 40 周年記念
- ・ 「青少年健全育成のための市民の集い」中止のお知らせ

- ・ポール・ハリス・ソサエティ認証式のご案内
- ・ザ・ロータリアン2月号

【理事会報告】

【審議事項】

- 1.1 月度出席率 100.0%
2. 例会プログラムの変更について

【審議結果】

1. 1/13 会員数(免除除く) 34、出席 18
メイクアップ 16 出席率 100%
- 1/20 会員数(免除除く) 35、出席 23
メイクアップ 12 出席率 100%
- 1/27 会員数(免除除く) 35、出席 28
メイクアップ 7 出席率 100%
- 1/29 会員数(免除除く) 35、出席 26
メイクアップ 9 出席率 100%
2. 例会プログラムの変更
 - 2/3 私と RC 根本成二会員 →
IM 総括 鈴木稔ガバナー補佐に変更
 - 2/10 会員卓話 島田裕会員→小泉浩一会員に
変更・私と RC 小松弘二会員
 - 2/17 会員一言 小松茂一会員→
「45周年記念事業について」に変更
 - 2/24 会員卓話 山口彰二会員→ 調整中
 - 2/24 私と RC 神山靖基会員
 - 3/3 会員卓話 島田裕会員 (Zoom)
 - 3/10 私と RC 糸賀正俊会員に依頼中
 - 3/24 会員卓話 小泉浩一会員→額賀会員に依頼中

その他の報告
 (第7回理事会議事録より) 今後の例会開催について

決定事項 1月29日(土)、会長、幹事、会長エレクトで相談の結果、茨城県に蔓延防止等重点措置が適用期間中の例会(2月3日、2月10日、2月17日)開催について、ハイブリット方式例会を行うことに決まった。但し、2月17日(木)夜間例会は、昼間の例会に変更する。昼食は持ち帰り用の弁当とする。

太田・吉成理事からの提案

ハイブリット方式例会開催のために現在使用している機器の見直しが提案され、安定した開催のために前向きに協議していくことで一致した。

本日のプログラム

第7回クラブ協議会 委員会活動中間報告Ⅱ

司会・進行 佐藤邦裕会長

会員増強委員会

勝山起一 委員長

2021-22 年度期首 37 名で、現在増減はありません。

インターアクト委員会

勝山起一 委員長



第24回インターアクト年次大会

10月31日(日)

茨城県立水戸農業高等学校ホストの下、水農キャンパスを会場に開催されました。昨年来のコロナ禍にあつて8月22日の当初予定を延期しての2年ぶりの開催となり、78名のインターアクター、顧問の先生、ロータリアンが久しぶりに一堂に会し再開を喜び、交流を深めることができました。茨城キリスト教学園高校8名、水城高校24名、つくば東風高校3名、水戸農業高校20名に加え7月に誕生した茨城県立下館工業高校インターアクトクラブ(提唱:しもだて紫水ロータリークラブ)23名が初参加しました。講演の演題は「全ての若者が自分の人生を自分で選択できる社会に！」で、若者に大人気の三浦宗一郎氏による講演が行われました。午後と同じく振り返りの「思いを共有し、願う世界を実現するためのワークショップ」が行われ、グループに分かれて高校生同士、活発に意見交換を行いました。

茨城海岸美化プロジェクト参加 11月3日(祝・水)

インターアクトクラブ会長・副会長2名参加した。清掃活動中に並行してポリオ根絶募金を行い、約31,000円が集まった。

委嘱状の交付 11月

2021-22年度インターアクトクラブ会長と副会長2名に委嘱状を交付し、新入部員にインターアクト章(バッジ)を支給した。

日立港RC例会出席 12月9日(木)

インターアクトクラブ顧問の新井教諭、会長、副会長2名が例会に出席し2021年の活動報告を行った。

情報広報委員会

平田伸一 委員長

平田伸一委員長 Zoom 発表

情報・広報委員会は、クラブ内における情報交換と共有、並びにクラブ外、特にロータリアン以外の人々に対し情報発信することで、ロータリークラブに対するイメージと認知度の向上につなげていくことを活動方針としています。上半期は、

コロナ禍であらゆるイベントが中止となり、発信できる内容が少なかったのは事実ではありますが、このような時だからこそ、新たな試みで情報発信できるものがあつたのではないかと反省しております。以下、今年度掲げた具体的な活動方針に対する現時点の実績を報告します。

(1) 会員同士が活発な情報・意見交換ができる環境作り (例会雰囲気作り)

この活動は当委員会というよりは SAA 含めた全ての会員の皆様が自然に作りあげていただいている状況ですので、詳細については割愛させていただきます。

(2) 入会歴の若い会員とベテラン会員との交流の場としての会員研修を実施

2021 年 9 月 30 日に新入会員向けの研修会を予定しておりましたが、コロナ感染の影響で見送りとなってしまい現時点で未実施の状態です。今後、コロナ感染状況をみながら研修ができないか関係各位と検討していきたいと思っております。

(3) ホームページのブラッシュアップ

週次で発行される会報を HP に掲載しておりますが、その他のイベントは掲載できていません。早々に海岸清掃、IM の活動実績を HP に掲載予定です。

(4) 予算と実績

広報活動費として、¥300,000 の予算を計上しておりますが、HP の運用費用ならびに Zoom 例会開催のための機材購入費を合わせて、¥112,615 の拠出となっています。

出席会場委員会 鈴木崇久 委員長

鈴木崇久委員長発表

会報・雑誌委員会 松橋好徳 委員長

佐藤邦裕会長代読

年間全 46 号の会報発行を計画し、コロナ禍による例会中止の影響を受けながらも、予定通り第 23 号まで発行することが出来ました。原稿執筆及び編集にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。会報内容については「ロータリーの友」や「ガバナー月信」等の公式地域雑誌の内容について会員の関心を喚起すべく、会報の中に『各国で実施された「環境にやさしい」11 のプロジェクト(リサイクル)』紹介記事等を掲載しました。

残りの会報についても、予定通り発行していきますので、会報掲載記事提供へのご協力を引き続き宜しく願いいたします。

職業奉仕委員会 照沼明美 委員長

照沼明美委員長発表

社会奉仕委員会 根本成二 委員長

古川秀樹委員代理発表

1. 活動方針

地域社会に奉仕、貢献できるクラブとして、職業奉仕、青少年奉仕など他の委員会と協調した社会奉仕活動を推進していきます。

2. 事業実施報告

1) 11 月 3 日に実施いたしました、日立市伊師浜海岸における『海岸美化プロジェクト』において、ホストクラブとして会員、インターアクター、米山奨学生あわせて約 30 名が参加し、会場準備、駐車場案内、受付業務等の作業を行いました。

当日の参加者は、天候にも恵まれ第 1、第 7 分区あわせて約 300 名となりました。

2) 例年行っておりました、『大みか祭り』における薬物乱用防止街頭キャンペーン活動は新型コロナ感染拡大による現状をふまえ今年も中止となりました。

3) 令和 4 年 1 月 8 日に開催されました、『ひたち郷土かるた大会』へ協賛、参加いたしました。

青少年奉仕委員会 吉成公一 委員長

吉成公一委員長発表

国際奉仕委員会 古川英希 委員長

1. 第 2820 地区、海外支援プログラム

『この指とまれ』事業への協賛

今年度は以下に 3 つの事業に協賛いたしました。

- ・日立・下館 RC『ネパール子供たち就学支援』
- ・しもだて紫水 RC『ペンシルプロジェクト』

以上 2 つのプロジェクトについては昨年に引き続き協賛いたしました。今年度は新たに、友部 RC が行う自然環境問題について取り組む『マングローブの森・再生プロジェクト in フィリピン』に協賛いたしました。協賛金額はそれぞれの事業に、10,000 円、合計 30,000 円。

2. 米山奨学生との交流

当クラブ米山留学生、マブンさんには、積極的に例会等参加いただいております。

11月3日に行いました『海岸美化プロジェクト』にも参加いただき、会場の準備、受付等の仕事を会員とともに行っていただきました。また、1月29日に行いましたインターシティーミーティングにもリモート参加していただき講演を聴講いただきました。

米山記念奨学会委員会 太田秀夫 委員長

1. 活動方針

今年度は中国から茨城大学工学部への奨学生「馬 雯」(マブン)さんの世話クラブとなっており、準世話クラブの日立中央 RC、更に第1分区内世話クラブとの連携を図りつつ公私両面での支援を継続中である。

2. 活動状況中間報告 (主なイベント)

- (1) 4月10日: 2021年度米山記念奨学会オリエンテーション (カウンセラー太田は Zoom で参加)
- (2) 7月4日: 太田が関わる写真展 (@日立シビックセンター) に呼んで風景写真を鑑賞、当日たまたまオリンピックの聖火リレーが同会場前を通過し、貴重な体験になったと思う。
- (3) 7月8日: 新年度を迎え日立港 RC の例会に出席、自己紹介のあとで会長より奨学金を手渡した。
- (4) 7月24日: 第1分区の鈴木ガバナー補佐の発案で第1分区内の奨学生4人、各カウンセラー、準世話クラブの委員長が一堂に会し、顔合わせとともに分区内の横連携強化で合意した。
- (5) 10月14日: 日立港 RC の例会に出席、マブンさんの卓話をいただいた。
- (6) 10月30日: 地区主催の日本文化体験研修 (笠間稲荷など) に参加。
- (7) 11月3日: 茨城海岸美化プロジェクトに参加、準備の手伝い担当。
- (8) 11月11日: 新井ガバナー公式訪問時の例会に参加、近況報告のあとガバナーより奨学金手渡し。
- (9) 1月29日: 第1分区分ターシティーミーティングに Zoom で参加。
- (10) コロナ禍の影響で例会出席困難なときは会

報に近況報告を寄稿頂き、奨学金は銀行振込で支給している。

3. 寄付金・募金現状実績 (会員数 37 名)

事業内容	目標金額	中間実績
普通寄付 (クラブ寄付)	185,000 円	185,000 円
特別寄付 (功労者)	740,000 円	570,000 円
合計	925,000 円	755,000 円

4. 今後の予定

3月の例会にて送別会、その後第1分区内奨学生4人を対象に3月13日に日立オリジンパークにて見学会及び送別会を実施予定。

I. M. 総括 鈴木稔ガバナー補佐

閉会点鐘 佐藤邦裕 会長
 今週の会場の花 “トルコ桔梗”
 花言葉; 思いやり



日立港ロータリークラブ

2022. 1. 29
 第 1998 回例

例会報告

司会進行 鈴木崇久 SAA

- 開会点鐘 ガバナー補佐 鈴木 稔
- 開会の言葉 I.M. 実行委員長 古川英希
- 国歌斉唱並びにロータリーソング斉唱
- ソングリーダー 照沼明美
- 歓迎の言葉 ホストクラブ会長 佐藤邦裕
- 来賓・役員・参加クラブ紹介及び挨拶
- ガバナー補佐 鈴木 稔
- 国際ロータリー第 2820 地区
- ガバナー 新井和雄 (下館 RC)
- パストガバナー 清水 清 (日立 RC)
- パストガバナー 藤居彰一 (日立 RC)
- ガバナーノミニージェンネイト
- 大高司郎 (高萩 RC)
- 地区幹事 早瀬浩一 (下館 RC)
- 地区会計長 永井敬一 (下館 RC)
- 職業奉仕委員会総括委員長
- 鈴木富士雄 (つくば学園 RC)
- 国際ロータリー第 2820 地区

I.M.リーダー・直前ガバナー

池田正純 (牛久 RC)

第1分区各ロータリークラブ、ロータリアン並びにロータリーファミリーの皆様ようこそいらっしゃいました。

出席報告

鈴木崇久 SAA

会員数	出席数	出席率
37	26	74.29%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席2名)	9	100.0%

本日の食事メニュー：ランチ

第1部

メインテーマ「疫病との闘いの最前線から学ぶ」

サブテーマ「利他と利己」

今回のテーマ説明、活動団体・講師紹介

ガバナー補佐 鈴木 稔

講演者

国境なき医師団日本理事 高橋健介医師

Zoom 会議システムによる講演・質疑応答

国境なき医師団

総評

I.M.リーダー 直前ガバナー 池田正純

次期ホストクラブ会長挨拶

日立中央 RC 会長 佐藤利和

閉会の言葉 ホストクラブ幹事 菅原光雄

閉会点鐘 ガバナー補佐 鈴木 稔

第2部

懇親会

新型コロナ感染症感染状況に鑑み、中止とします。

2021-22 年度 第1分区 I.M.報告

幹事 菅原光雄

第2820地区第1分区インターシティ・ミーティング(IM)が1月29日(土)にホテル天地閣で開催されました。今年度は日立港 RC がホストクラブとなり、新型コロナオミクロン株感染の急拡大のため、当初予定していた対面でのIMが叶わず、ハイブリッド形式によるオンライン開催となりました(会場出席は、日立港 RC 会員27名、他3名)。

第1分区の7RCのロータリアン、馬雲さん他の分区内米山奨学生、茨城県北ローターアクトクラブ等ロータリーファミリー約150名、来賓として新井和夫ガバナー、池田正純 IM リーダー、清水・藤井 PG、早瀬地区幹事、永井地区会計長、鈴木富士雄職業奉仕総括委員長、大高ガバナーノミニ・デジグネートをお招きし開催されました。今年度のメインテーマ「疫病との闘いの最前線から学ぶ」、サブテーマを「利他と利己」掲げて実施されました。

第1部では、国境なき医師団から高橋健介医師(国境なき医師団日本理事、長崎大学病院救命救急センター助教)から、テーマに沿ったオンラインにより、高橋医師ご自身の派遣経験から講演をいただきました。国境なき医師団は、世界の紛争や自然災害等、様々な理由で命の危機にさらされている人々に医療を届け、また人々が置かれた窮状を世界に向けて発信する医療・人道支援団体として1971年にフランスで設立されました2020年には、90の国と地域で活動し、世界各地では約45,000人のスタッフが活動しているそうです。サブテーマの「利他と利己」についても、高橋医師から考察していただき、ロータリーの奉仕の理念である Service above self と One profit most who serves best の利他と利己の調和の意義を考えるうえで多くの示唆をいただきました。

第2部、分区内クラブ交流のイベントとしての懇親会は、新型コロナオミクロン株感染の急拡大の状況を鑑み、感染拡大防止のため中止となりました。

IM開催にあたり、鈴木稔ガバナー補佐、古川IM実行委員長、佐藤会長、山口会長エレクト、会員皆様のご協力により、無事にIMを開催することができました。お疲れさまでした。

講演者紹介

高橋健介医師

国境なき医師団日本理事
長崎大学病院救命救急センター助教

長崎みなとメディカル

センター救急救命センター

長崎大大学院 熱帯医学グローバルヘルス研究科



(Zoom 画面を撮影)

I.M の記録



鈴木崇久 SAA



照沼明美ソングリーダー



鈴木稔ガバナー補佐



古川英希実行委員長



佐藤邦裕ホスト会長



来賓・役員等紹介



新井和雄ガバナー



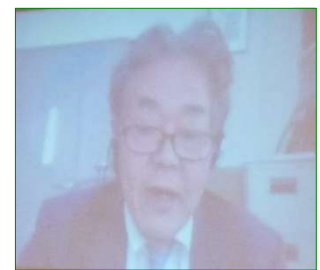
高橋健介医師



質疑 鋤柄純忠会員



質疑 鈴木茂美会員 日立 RC



池田正純 I.M. リーダー



次期ホストクラブ佐藤利和会長 (日立中央 RC)



菅原光雄ホストクラブ幹事





日立港ロータリークラブ

2022. 1. 27
第 1997 回例

会長挨拶

佐藤邦裕 会長



東京オリンピックから東京パラリンピックと熱戦が移る中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ロータリークラブのかなめであります例会がコロナ渦緊急事態宣言の発令の中、休会が続いております8月28日2820地区の第1回会長幹事会が開催されました。私は Zoom での参加とさせて頂きました。そこで Zoom 会議 2 度目でありましたが、感想は会議と言うよりは講義と言う感じでありまして、完全な一方通行な講義を拝聴する味気ない時間を過ごした気がいたしました。日立港ロータリークラブといたしても今後例会活動を、コロナ渦、時代の要請の中で、Zoom、Remote、での運営等考えなければならない時が来ているような気がします。その中で情報サービス関連を職業としている会員、得意な会員の協力をお願いして日立港ロータリークラブ独自、独特な Zoom、Remote 会議体制を構築出来ればと思っております。でもやはり人と人、対面での楽しい意義ある例会が早く出来るのを待ち望んでおります。

例会報告

開会点鐘 佐藤邦裕 会長
R ソング 「奉仕の理想」

出席報告

鈴木崇久 SAA

会員数	出席数	出席率
37	28	80.0%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席2名)	7	100.0%

本日の食事メニュー：刺身&フライ

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

本日はいらっしやいません。

幹事報告

佐藤邦裕会長

【受信書簡・メール】

- ・2022-23 年度ロータリー財団補助金セミナー (Zoom 開催) 案内
- ・後期地区分担金振込のお願い
- ・2022-23 年度テーマ発表のお知らせ
- ・令和3年度国際交流事業に関する調査のお願い

私と RC

島田洋次 さん

『星と海の芸術祭』

2022 年星と海の芸術祭開催概要

「星と海の芸術祭」は茨城県日立市大みか町の企業や町工場とともに芸術作品を制作し、星(歴史)と海(自然)に混ざりあい展示していく トイベントです。茨城県日立市大みか町の企業や町工場と、東京芸術大学の学生が、ともに作り上げる「星と海の芸術祭」を2022年の夏、開催します。「ものづくり×アート」のまちづくりを目指す「おおみかアートプロジェクト」の第一歩です。

まちにアートという非日常の体験を「搬入」したい

2022 年は、JR 大甕駅前の駐車場を中心にまちへ作品を持ち込みます。幅 100m の敷地に大型作品を仮設するとともに、駅前からまちへ飛び出す大みか町ツアーなどのワークショップを開催します。

開催時期: : 2022 年 8 月

開催場所: : 茨城県日立市大みか町 (JR 大甕駅西口 駅前+久慈漁港と久慈浜海水浴場)

主催: おおみかアートプロジェクト

参加アーティスト (※ 1 月 21 日時点) : 東弘一郎 浅野ひかり・小山真徳・關田重太郎・鷹取詩穂・林奈緒子・深田拓哉

ものづくり×アートによる新たなまちづくり

大みか町は、茨城県北部に位置するまちです。古くは紀元前 660 年から星にまつわる大甕神社があり、現在は企業城下町として発展した地域としても知られています。海岸地域は海水浴場として有名であり、海岸や山の自然風景と、神社や漁港、工場などの人工風景がコンパクトにまとまったエ

リアです。しかしながら、大みか町は日常的に多くの学生、会社員の往来があるのに、神社の歴史も、町工場や職の技術力も、あまり知られていません。ものづくりの技術を持つこの大みか町なら、アーティストと地域の人と一緒に芸術祭を作りながらまちの魅力を発信できるのではないだろうか。そんな思いから、大みか町の歴史・自然と工業を、地域の人たちと一緒に可視化する形でつなぎなおす「ものづくり×アート」による新たなまちづくりのチャレンジが始まりました。

星と海の芸術祭のチャレンジ

今年の8月中旬に開催を予定している「星と海の芸術祭」は全くゼロからのチャレンジです。あくまでも町工場とアートを用いたまちづくりの入り口であり、イベントの開催自体が目的ではありません。まずは地域に設置するアート作品などを通じて日立市大みか町を知ってもらうことで、長期的に地域の活性化につながると考えています。芸術祭は今年だけで終わりではありません

来年以降も地域との関わり方をより拡張しながら複数回開催することにより、地域に芸術祭で使用した作品を残していく活動を行います。設置作品・設置場所をさらに点在させ、アートのある日常風景を作り上げていきます。2022年開催後も、私たちは継続的にアートを通じたまちづくりを継続していきます。

本日のプログラム

「インターシティミーティングについて」

古川英希 IM 実行委員長

I.M.進行・会場設営などの確認

閉会点鐘 佐藤邦裕 会長

今後のスケジュールのご案内

2月17日(木)例会 12:30～ 美かの
「創立45周年記念事業について」
2月24日(木)例会 12:30～ 美かの
「会員卓話 調整中」
「私とRC 神山靖基さん」
3月3日(木)例会 12:30～ 美かの
「会員卓話 島田 裕さん(Zoom)」

今週の会場の花

「フリージア」

花言葉：無邪気



編集後記

◇「オミクロン株」が猛威を振るっています。地元の水木小学校及び泉丘中学校にてクラスター。何時何処で感染してもおかしくない状況下にあります。◇「オミクロン株」が猛威を振るっています。地元の水木小学校及び泉丘中学校にてクラスター。何時何処で感染してもおかしくない状況下にあります。皆さん、くれぐれもご用心下さい。◇コロナも深刻ですが、私にとって更に深刻な季節となってしまいました。それが花粉症です。この厄介な奴とはかれこれ50年程の付き合いです。当時はまだ「花粉症」という呼び名ではなく「アレルギー性鼻炎」などと診断されたと記憶しております。◇私の場合は「スギ花粉症」で、期間はその年ごとに差はありますが、だいたい1月の下旬から4月下旬頃までの間。症状は極度の鼻水。これは時として湧水のごとく流れ出し、ティッシュで押さえるより早く垂れ落ちるのです。次にクシャミ。一度出始めると止めどなく続くのです。更には目の痒み。この症状は酷いもので、一度痒くなると洗っても、目薬注しても効果なく、目玉取り出して洗剤付けて洗いたくなる程辛いものです。◇これまでいろいろな薬や食品等試してきましたが、効果は見られず今日に至っております。この時期になると、ただ気休めの処方薬を服用しながら時期が過ぎ去るのを待つみの悲しい現実なのです。◇参考までに、現在日本では「スギ花粉症」だけで約1500万人以上、全ての種類の花粉症は約2000万人以上とも言われています。花粉症は1度発症すると自然治癒は困難である事から、毎年原因植物の飛散時期に繰り返し発症するという事です。(い)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

松橋好徳 糸賀正俊 五来美奈

神山靖基 中野紀子(事務局)

URL：<http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail：info@hitachi-ko-rc.com